

観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和5年7月7日

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 該当するもので囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO、 <u>地域DMO</u>	
観光地域づくり法人の名称	勝山市観光まちづくり株式会社	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 福井県勝山市	
所在地	福井県勝山市	
設立時期	平成28年6月17日	
事業年度	4月1日から翌年3月31日までの1年間	
職員数	24人【常勤18人（正職員18人・出向等0人）非常勤6人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）	（氏名） 宮塚 和彦 （出身組織名） 勝山商工会議所 専務理事	福井県勝山市出身 1961年生まれ。 勝山商工会議所の専務理事として、地域内の企業との連携、商工業を通じた地域経済の活性化に尽力している。

必ず 記入す ること		
データ 分析に 基づい たマー ケティ ングに 関する 責任者 (CM O:チ ーフ・ マーケ ティン グ・オ フィサ ー)	(氏名) 今井 三偉「専従」 (出身組織名) 勝山市観光まちづくり(株)	福井県勝山市出身 1987 年生まれ。 時事通信社、JAPAN サッカーカレッジ等で営業・運営・ マネジメントなど多様な業務に従事。マーケット・イン の発想に基づいた事業立案を担い、マネージャーとして 実行責任も負っている。
財務責 任者 (CF O:チ ーフ・ フィナ ンシャル・ オフィサ ー)	(氏名) 伊藤 寿康「専従」 (出身組織名) 勝山市観光まちづくり(株)	福井県勝山市出身 1963 年生まれ。 勝山市役所にて政策幹、危機管理幹等を歴任。運営終始 計画や金融機関との折衝等、行政との調整など財務、事 務を取り仕切る。
道の駅 恐竜溪 谷かつ やま責 任者	(氏名) 木下 和寛「専従」 (出身組織名) 勝山市観光まちづくり(株)	福井県勝山市出身 1979 年生まれ。 ホテルなどのリゾート施設で 18 年間の勤務にて主にホ テルオペレーションや団体営業に携わり、令和 2 年より 道の駅の駅長として地域の農家や事業者との連携を行 いながら、地域の事業者の販路拡大や商品開発等の企画、 販売を行なっている。
旅行商 品造 成・営 業の責 任者	(氏名) 本多 啓介「専従」 (出身組織名) 勝山市観光まちづくり(株)	福井県勝山市出身 1993 年生まれ。 2016 年勝山市に就職し、2018 年当社に転職。インフォ メーションセンター等を統括しながら市内観光施設と連 携を行い、旅行商品の造成、営業を行っている。
連携す る地方 公共団 体の担 当部署 名及び 役割	福井県勝山市 商工文化課 (観光施策、インバウンド、商業振興、データ収集等観光地域づくりや商業振興に関する 政策連携、ジオツーリズムや商品開発に関する政策連携、日本遺産に関する政策連携) 農林課 (道の駅、農泊等体験型事業、6 次産業化等農業に関する政策連携) 建設課 (恐竜博物館周辺等に関する社会資本整備に関する連携)	

<p>連携する事業者名及び役割</p>	<p>勝山商工会議所（地域活性、商品の開発、市内商工業者との連携） 合同会社ジオスタジオ（観光拠点施設の飲食店運営） 大福交通有限会社（事業連携、ツアー造成・交通事業者） 勝山交通株式会社（交通事業者） えちぜん鉄道株式会社（交通事業者） 株式会社福井キャピタル&コンサルティング・地元金融機関（事業化支援） 東急リゾート&ステイ株式会社（宿泊事業連携者） 株式会社リオ・ホテルズ関越（宿泊事業連携者） 中央日本総合観光機構（広域連携 DMO） 福井県観光連盟（地域連携 DMO） 株式会社 六千坊（観光地「平泉寺」の周辺施設を運営） 他、市内及び県内の観光・商工業者など</p>																			
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>（例） 【該当する登録要件】 交通事業者、宿泊事業者など商工業者の代表者である商工会議所からの代表者をはじめ、行政、金融機関等が幅広く出資して設立し、役員を派遣している。株主総会により、戦略を共有し、取締役会や運営執行会議において、意思決定を行う。</p> <p>当社の資本構成と取締役会人員は下記の通りであり、地域内の官民・産業間との持続可能な連携を図る合意形成の場となっている。</p> <p>【資本構成】</p> <table border="1" data-bbox="320 987 1272 1373"> <tr> <td>資本金</td> <td>1,000万円</td> </tr> <tr> <td>株主構成</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・勝山商工会議所（51%） 商工会議所会員50団体（個人含む）が小口にて出資 ・勝山市（24%） ・福井銀行（5%） ・越前信用金庫（5%） ・北陸銀行（2.5%） ・福邦銀行（2.5%） ・合同会社ジオスタジオ（10%） </td> </tr> </table> <p>【取締役会】2023年3月末日時点</p> <table border="1" data-bbox="320 1626 1272 1995"> <thead> <tr> <th>役職</th> <th>氏名</th> <th>出身元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代表取締役</td> <td>宮塚 和彦</td> <td>勝山商工会議所 専務理事</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>渡辺 統</td> <td>福井銀行</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>阿部 光郎</td> <td>勝山商工会議所 副会頭</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>伊藤 寿康</td> <td>勝山市観光まちづくり（株） 勝山市 OB</td> </tr> </tbody> </table>	資本金	1,000万円	株主構成	<ul style="list-style-type: none"> ・勝山商工会議所（51%） 商工会議所会員50団体（個人含む）が小口にて出資 ・勝山市（24%） ・福井銀行（5%） ・越前信用金庫（5%） ・北陸銀行（2.5%） ・福邦銀行（2.5%） ・合同会社ジオスタジオ（10%） 	役職	氏名	出身元	代表取締役	宮塚 和彦	勝山商工会議所 専務理事	取締役	渡辺 統	福井銀行	取締役	阿部 光郎	勝山商工会議所 副会頭	取締役	伊藤 寿康	勝山市観光まちづくり（株） 勝山市 OB
資本金	1,000万円																			
株主構成	<ul style="list-style-type: none"> ・勝山商工会議所（51%） 商工会議所会員50団体（個人含む）が小口にて出資 ・勝山市（24%） ・福井銀行（5%） ・越前信用金庫（5%） ・北陸銀行（2.5%） ・福邦銀行（2.5%） ・合同会社ジオスタジオ（10%） 																			
役職	氏名	出身元																		
代表取締役	宮塚 和彦	勝山商工会議所 専務理事																		
取締役	渡辺 統	福井銀行																		
取締役	阿部 光郎	勝山商工会議所 副会頭																		
取締役	伊藤 寿康	勝山市観光まちづくり（株） 勝山市 OB																		

取締役	今井 三偉	勝山市観光まちづくり(株)
監査役	花山 昭人	越前信用金庫

また、本年2月より市内観光施設や宿泊業等連携した協議会を設立し、意見の集約や事業の共有を行なっている。

【観光戦略協議会】

宿泊施設	ホテルハーヴェストスキージャム勝山 東急リゾート&ステイ(株)
宿泊施設	勝山ニューホテル (株)リオ・ホテルズ関越
宿泊施設	勝山市旅館業組合
飲食業	勝山市麺類業組合
飲食業	勝山菓子組合
飲食業	勝山喫茶飲食業組合
観光施設	勝山恐竜の森 NPO 法人恐竜のまち勝山応援隊
観光施設	越前大仏 臨済宗妙心寺派大師山清大寺
観光施設	勝山城博物館 (公財)多田清文化教育記念財団
観光施設	ゆめおーれ勝山 NPO 法人まちづくり勝山
観光施設	スキージャム勝山 東急リゾート&ステイ(株)
観光施設	白山平泉寺観光振興拠点 (株)六千坊
交通	奥越バス協会 大福交通(有)
交通	えちぜん鉄道(株)
経済団体	勝山商工会議所
行政	勝山市

<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>地域住民については、道の駅恐竜渓谷かつやまや花月楼周辺でのイベントなどで観光意識の啓発を図るとともに、地域プレイヤー育成を目的として年2回程度、他地域で活動しているプレイヤーを招き講演会・ワークショップを行っている。</p> <p>観光事業者や一般の事業者については、勝山商工会議所と連携しお土産物開発講座を行い、意欲ある事業者と事業連携を行っている。また、体験プログラム等のコンテンツ造成や実施の際には観光事業者を含む一般の事業者とも随時連携し、情報、戦略を共有している。</p>						
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>【活動の概要】</p> <table border="1" data-bbox="292 667 1265 1980"> <thead> <tr> <th data-bbox="292 667 475 712">事業</th> <th data-bbox="475 667 1265 712">実施概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="292 712 475 1653"> <p>情報発信・プロモーション</p> </td> <td data-bbox="475 712 1265 1653"> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年～ SNS 情報発信事業 国内観光客（個人旅行者）に向けて、勝山市のみならず、近隣市町（永平寺町、大野市、石川県白山市）の情報をInstagram及びフェイスブック等のSNSを用いて年間を通して情報発信を行っている。 2021年には福井県観光連盟と共にInstagramやGoogle My Businessを用いたマーケティング調査を行った。2022年には福井県観光連盟の事業にてデジタル人材の育成を行なう予定である。 ・2020年～インバウンド向け情報発信事業 勝山市並びに近隣市町（永平寺町、大野市）とともにインバウンド向けウェブサイトを開設した。2020年に英語、2021年に繁体字、2022年には簡体字およびフランス語を追加した。また、JNTOと連携し、JNTO観光コンテンツ多言語ウェブサイトに掲載をした。 ・2021年 インフルエンサー招聘事業 台湾向けインフルエンサーを招聘し、ウェブ掲載、Instagramのライブ機能を用いたPR事業を実施した。 ・越前大仏 広報事業 2022年より越前大仏清大寺の広報を当社にて実施している。来場者数も前年度比で上昇しており、引き続き広報を行っている。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="292 1653 475 1980"> <p>受入環境の整備</p> </td> <td data-bbox="475 1653 1265 1980"> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年訪日グローバルキャンペーン事業 外国人によるモニター調査を行い、地域の通訳案内士等を対象に地元英語ガイド講習会を行った。 ・2021年北陸三県誘客促進連携協議会観光素材造成事業 自社で行っている左義長体験ツアーのコンテンツのパンフレットを日本語及び英語双方で作成した。 ・2022年道の駅看板整備事業 </td> </tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	<p>情報発信・プロモーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年～ SNS 情報発信事業 国内観光客（個人旅行者）に向けて、勝山市のみならず、近隣市町（永平寺町、大野市、石川県白山市）の情報をInstagram及びフェイスブック等のSNSを用いて年間を通して情報発信を行っている。 2021年には福井県観光連盟と共にInstagramやGoogle My Businessを用いたマーケティング調査を行った。2022年には福井県観光連盟の事業にてデジタル人材の育成を行なう予定である。 ・2020年～インバウンド向け情報発信事業 勝山市並びに近隣市町（永平寺町、大野市）とともにインバウンド向けウェブサイトを開設した。2020年に英語、2021年に繁体字、2022年には簡体字およびフランス語を追加した。また、JNTOと連携し、JNTO観光コンテンツ多言語ウェブサイトに掲載をした。 ・2021年 インフルエンサー招聘事業 台湾向けインフルエンサーを招聘し、ウェブ掲載、Instagramのライブ機能を用いたPR事業を実施した。 ・越前大仏 広報事業 2022年より越前大仏清大寺の広報を当社にて実施している。来場者数も前年度比で上昇しており、引き続き広報を行っている。 	<p>受入環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年訪日グローバルキャンペーン事業 外国人によるモニター調査を行い、地域の通訳案内士等を対象に地元英語ガイド講習会を行った。 ・2021年北陸三県誘客促進連携協議会観光素材造成事業 自社で行っている左義長体験ツアーのコンテンツのパンフレットを日本語及び英語双方で作成した。 ・2022年道の駅看板整備事業
事業	実施概要						
<p>情報発信・プロモーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年～ SNS 情報発信事業 国内観光客（個人旅行者）に向けて、勝山市のみならず、近隣市町（永平寺町、大野市、石川県白山市）の情報をInstagram及びフェイスブック等のSNSを用いて年間を通して情報発信を行っている。 2021年には福井県観光連盟と共にInstagramやGoogle My Businessを用いたマーケティング調査を行った。2022年には福井県観光連盟の事業にてデジタル人材の育成を行なう予定である。 ・2020年～インバウンド向け情報発信事業 勝山市並びに近隣市町（永平寺町、大野市）とともにインバウンド向けウェブサイトを開設した。2020年に英語、2021年に繁体字、2022年には簡体字およびフランス語を追加した。また、JNTOと連携し、JNTO観光コンテンツ多言語ウェブサイトに掲載をした。 ・2021年 インフルエンサー招聘事業 台湾向けインフルエンサーを招聘し、ウェブ掲載、Instagramのライブ機能を用いたPR事業を実施した。 ・越前大仏 広報事業 2022年より越前大仏清大寺の広報を当社にて実施している。来場者数も前年度比で上昇しており、引き続き広報を行っている。 						
<p>受入環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年訪日グローバルキャンペーン事業 外国人によるモニター調査を行い、地域の通訳案内士等を対象に地元英語ガイド講習会を行った。 ・2021年北陸三県誘客促進連携協議会観光素材造成事業 自社で行っている左義長体験ツアーのコンテンツのパンフレットを日本語及び英語双方で作成した。 ・2022年道の駅看板整備事業 						

		<p>道の駅等にお越しになるインバウンドに向けて、英語での看板設置を行う予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年 Google マイビジネス/Trip advisor 市内観光事業者及び商工業者向けに Google マイビジネス及び Trip Advisor の講習会を実施し、開設及び運用支援を行なっている。 	
	観光資源の磨き上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年インバウンド向けコンテンツの整備事業 2020年度観光庁「訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業」により、勝山市及び大野市にて、6つのコンテンツを造成。2021年は福井県の事業にてFAMトリップを実施した。2022年はスノーアクティビティを地域の事業者と連携し、構築を行い、2023年以降の本格導入に向けて造成を行う予定である。 ・道の駅 恐竜渓谷かつやまの運営 2020年にオープンした中部縦貫自動車道勝山ICから1分の勝山市の玄関口に位置する道の駅の運営を開始した。 勝山市内の特産品をはじめとして、域内、県内のお土産を取り揃えており、商品や陳列など改善を重ねている。 2022年からは地域農家の課題解決や農作物を用いて付加価値をつけた商品開発を行うなど、新商品開発及びEC事業を展開し、今後の利益率の改善やオリジナル商品を通してブランディング優位で進め、2023年販売を目標に事業を進めている。2024年には地域の青果市場の運営を引き継ぎ、将来的には地域商社機能や農業への参入等見据えて地域資源を保全しつつ活動していきたいと考えている。 ・「ジオターミナル」の運営 2018年より福井県立恐竜博物館の位置する「かつやま恐竜の森 長尾山総合公園」において、土産販売・飲食・観光案内等を提供する複合施設「ジオターミナル」を保有・運営している。 市内や県内の事業者と連携した商品開発をはじめとして、恐竜に特化した商品を提供している。2020年からは東京などの関東圏でも催事にて販売を開始し、市内の売上だけでなく、市外での販売網も構築している。 また、恐竜の商品という特性を活かして、EC事業やオリジナル商品開発にも力をいれており、利益率の改善を重ね、売上も着実に向上している。 ・「花月楼」の施設管理 明治30年建築で国の有形文化財である「旧料亭 花月楼」の全面改修を行い、施設を管理している。地域の郷土料理発信の地としてレストランを市内飲食事業者にサブリース 	

	<p>で提供している。団体の受け入れや講演会、セミナー等の施設利用などとしての営業も行なっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着地型ツアーの開発・実施事業 地元の繊維工場と連携して、工場見学ツアー等開発・実施している。 2021年より地元の交通事業者と連携し、恐竜博物館や道の駅を訪れている観光客に向けての1時間程度のショートツアーを実施している。また、市内の伝統的な祭り「勝山左義長」を体験できる食事ツアーをインバウンド、国内、団体向けに開発を行なった。 ・一棟貸の宿の開発・検討 1300年以上の歴史を誇る「白山平泉寺」には多くの観光客が訪れているが、その反面、周辺エリアにキャッシュポイントが少なく、地域の住民が観光客を良く捉えられていない面がある。地域の担い手も高齢化し、空き家が目立っていく中で、当社として地域の若手事業者と連携し、古民家を購入し、宿泊施設等の開設を目指している。 ・越前大仏 観光再始動事業 今年度観光再始動事業にて越前大仏と連携し、事業実施を行う。人口雲海を用いたインバウンド向け事業を実施する予定である。 ・E-Bike 事業 今年度観光庁の「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業」の採択を受け、E-Bikeを用いた観光施設の周遊を促す事業を実施する予定である。 	
	<p>【定量的な評価】</p> <p>ジオターミナル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度売上 169,773 千円 ・2020年度売上 95,754 千円 ・2021年度売上 91,297 千円 ・2022年度売上 152,438 千円 <p>道の駅恐竜渓谷かつやま</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度売上 105,230 千円 ・2021年度売上 100,412 千円 ・2022年度売上 148,727 千円 <p>花月楼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度売上 1,651 千円 ・2020年度売上 1,636 千円 ・2021年度売上 1,636 千円 ・2022年度売上 1,636 千円 	

実施体制

地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。

【実施体制の概要】

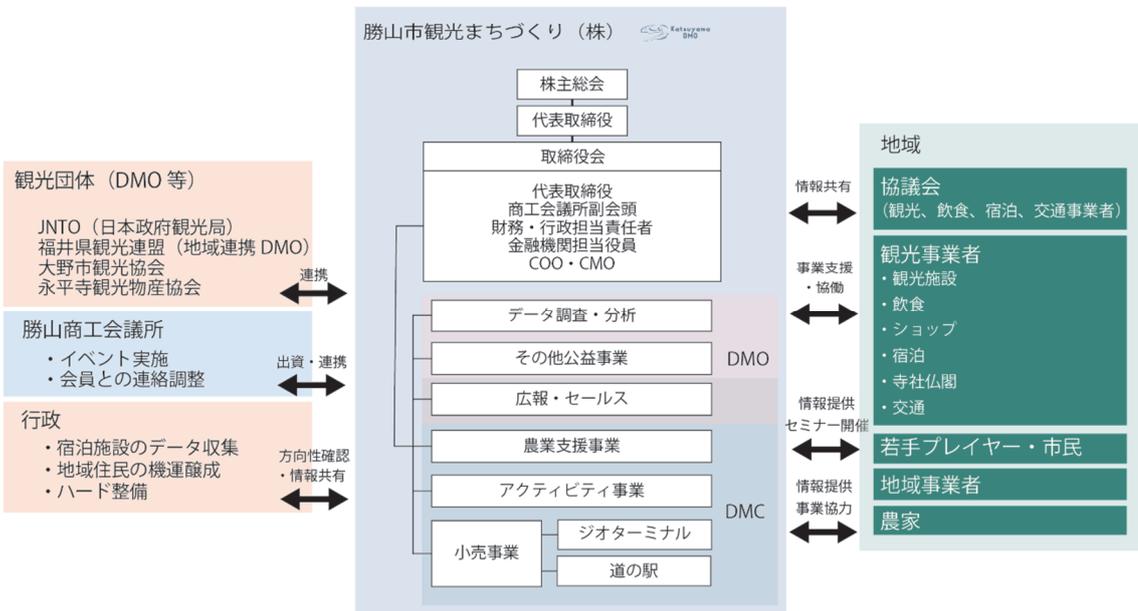
交通事業者、宿泊事業者等の代表者である勝山商工会議所、勝山市、金融機関等が出資し、設立された。主要企業より役員が派遣されている。

市民や市内事業者がまちづくりに興味を持ち、観光事業に参画することを事業全体の柱として、観光客のデータ収集、マーケティング、ブランディング、プロモーションの戦略を策定している DMO 機能とお土産店や道の駅等の小売部門、地域の事業者と協業コンテンツ開発や商品開発、地域プレイヤーの育成等、営利目的での収益事業やまちづくり事業を行う DMC 機能を保有している。

事業の意思決定については、4 半期に一度開催する取締役会で方針を承認、決定し、実行する。

また、行政は情報の共有や宿泊施設等のデータ収集、地域住民の機運醸成やハード整備等を行いながら、地域が一体となって合意形成を図り、事業を実施していく。

【実施体制図】



また、市内の宿泊施設や観光施設とより密接な連携を図るために、定期的な会合も行なっている。協議会だけでなく、観光施設それぞれにヒアリングや情報提供等を行い、共同での事業や、事業支援、実行まで行う伴走型支援も昨年度より実施している。

【協議会メンバー】

勝山市
勝山商工会議所
NPO法人 恐竜のまち勝山応援隊
東急リゾート&ステイ
リオ・ホテルズ関越
勝山市麺類組合
勝山市旅館業組合
勝山市観光まちづくり株式会社

2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

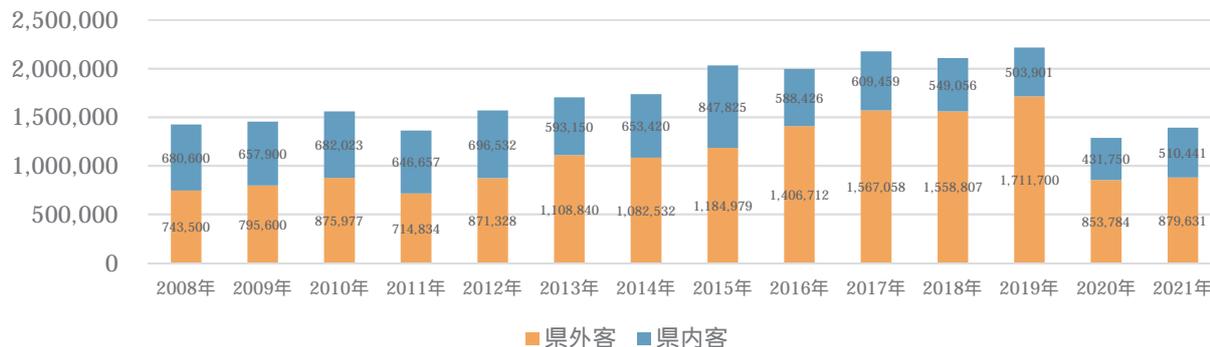
勝山市は福井県北東部に位置し、大野市・永平寺町・福井市・坂井市に隣接し、白山山系の山々を介して石川県にも隣接している。

地域 DMO として基本的には勝山市を区域として設定しており、「道の駅 恐竜渓谷かつやま」を玄関口として捉え、「福井県立恐竜博物館」や「スキージャンプ勝山」「白山平泉寺」といった集客力のある観光地での調査や市内コンテンツを利用した着地型商品の開発、市内農産物等を利用した商品開発及び市内、近隣自治体の事業者との連携を行っている。

また、インバウンドなど観光を多面的に捉える機会もあり、大野市には「大野城・七間朝市」、永平寺町には「曹洞宗大本山永平寺」など福井県内でも有数の観光地が隣接しており、情報発信等事業は勝山市以外の市町とも連携を行っている。

【観光客の実態等】

勝山市の観光入込客数推移



出典：勝山市「勝山市のすがた」

観光地別入込状況調査

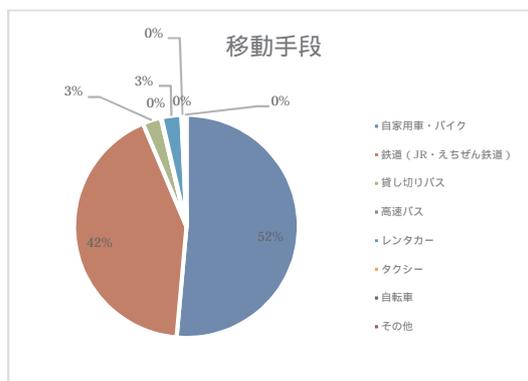
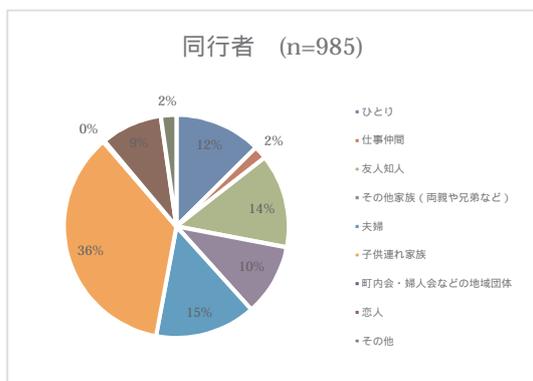
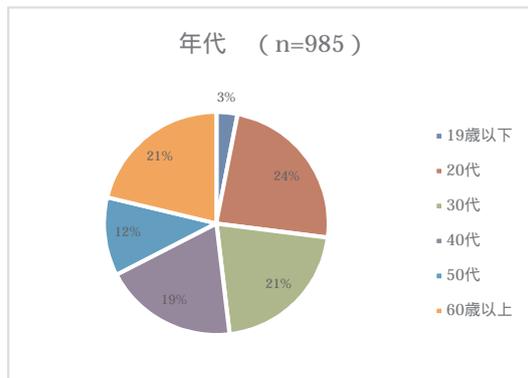
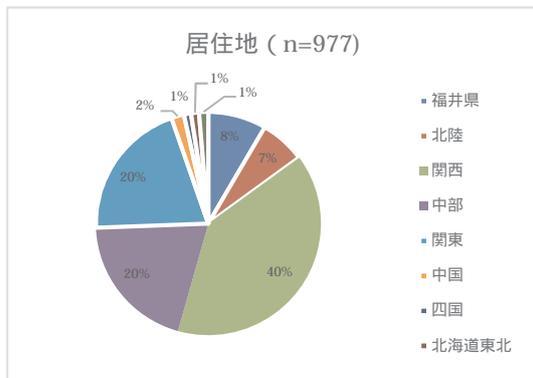
(単位：人)

区分	平成 2 8 年	平成 2 9 年	平成 3 0 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年
平泉寺周辺	123,058	360,186	227,674	215,501	117,007	95,723
雁が原周辺	53,047	76,708	69,347	67,159	15,052	32,409
加越国境周辺	22,800	17,900	14,983	16,018	10,571	18,990
大仏・城周辺	171,250	155,660	112,966	125,208	107,833	129,283
スキージャンプ周辺	250,606	272,124	317,458	290,853	135,914	196,886
恐竜博物館	883,128	794,080	847,369	939,672	371,610	385,861
野外恐竜博物館	39,085	38,012	39,307	42,930	10,405	11,901
発掘体験	43,436	38,537	41,520	48,848	20,783	23,020
ディノパーク	141,354	152,809	199,906	227,837	127,849	112,824
ゆめおーれ勝山	104,241	86,998	76,002	81,537	48,440	47,480
かつやま左義長まつり	100,000	110,000	80,000	120,000	40,000	-
道の駅「恐竜渓谷かつやま」	-	-	-	-	246,565	325,487
その他	63,133	73,503	81,331	40,038	33,505	10,208
計	1,995,138	2,176,517	2,107,863	2,215,601	1,285,534	1,390,072

出典：勝山市「勝山市のすがた」

「かつやま恐竜の森」でのアンケート調査では、小学生以下の子どもがいる大阪・名古屋・東京等の大都市に居住する 20 代～40 代ファミリー層が主要観光客層となっている。

今後、北陸新幹線延伸や恐竜博物館増設等が進んでいくと、観光客全体の勝山市に訪れるボリュームが増え、移動手段の項目の中で、鉄道の比重も非常に高くなってくと想定している。



2020 年自社アンケート調査データ

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

山間の自然に恵まれ、恐竜の時代から繁栄していた勝山市。白山信仰の本拠地でもあり、歴史的にも山間との結びつきが強く、県内でも有数のさまざまなターゲットに沿った観光コンテンツがある。

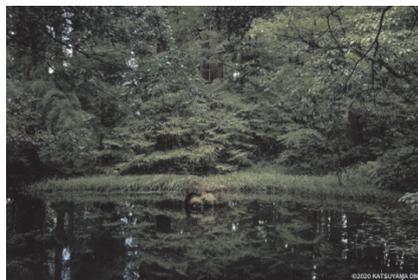
恐竜化石（福井県立恐竜博物館）

日本屈指の化石産出地であり、世界三大恐竜博物館に数えられる福井県立恐竜博物館を擁し、多くの観光客が訪れている。2023 年には恐竜博物館が増設され、2024 年以降もホテルが建設される等、より観光客のサービス向上を目指している。



白山平泉寺

白山信仰の中心地として栄えた壮大な宗教都市の遺跡で、200ヘクタールに及ぶ広大な史跡。日本一美しいといわれる苔宮で知られ、開山1300年以上の歴史を誇り、多くの観光客が訪れている。日本遺産にも登録され、現在では有料のガイドツアーや古民家をカフェにリノベーションを行うなど地元の事業者との取り組みも増加しており、当社としても地元事業者と連携をして、2024年度以降より1棟貸しの宿を検討している。



スキー等のアウトドアレジャー（スキージャム勝山）

スキージャム勝山は宿泊施設も併設されている西日本最大級のスキー場であり、冬季だけでなく、夏季も楽しむことができる施設である。恐竜博物館との親和性もあり、家族連れも楽しむことができる。



国登録有形文化財「旧料亭 花月楼」周辺

明治30年建築。2階の32畳の大広間は幅2間半の床の間を設け、天井は意匠的にも優れ、非常に珍しい傘状をしている。

旧料亭のリノベーションを行い、レストランとしてオープンした。花月楼周辺の通りに関しては昔ながらの雰囲気が残っており、近年ではゲストハウスや飲食店がオープンした。今後も地域のプレイヤーとともに事業連携を行い、飲食店の誘致やコワーキングプレイス等の検討などまちの核となる事業を実施していく。



食材・郷土料理等

川魚（あゆ、あまご）、野菜（水菜、エゴマ）、勝ち山おろしそば、勝ち山ぼっかけ、地酒等。現在、花月楼を郷土料理伝承の地として、地域の伝統食材を提供しているが、今後は、町全体として、地域の食材を使用したメニューの提供を行うなどワークショップを実施していきたいと考えている。

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

勝山市内の規模のある宿泊施設は、ホテル・旅館等が 10 件（最大収容定員合計 1005 名、293 室）、民宿が 1 件（最大収容定員 36 名、9 室）、ペンションが 3 件（最大収容定員合計 76 名、29 室）となっている。

上記の通り、勝山市は恐竜博物館の人気の観光客が増加し続けており、主要観光客層である都市圏（大阪・名古屋・東京）から勝山市まで移動時間で 3 時間以上を要することから、観光客の 7 割は宿泊予定であるものの、勝山市に宿泊する者はその中の 11%に過ぎない現状である。現在は 1 年を通して、予約が取りづらい状況もあり、2024 年以降の新規のホテルの建設が決まっている。

今年度は恐竜博物館のリニューアルに合わせて 7 月末オープン予定としてホテルが 50 ルーム増設された。その他の宿泊施設として一棟貸しの民泊施設や宿泊施設も 2 軒増加した。2023 年にも 2 軒の民泊施設が開設される予定である。新型コロナウイルスを契機に宿泊のニーズも大きく変化しており、当社も一棟貸し宿泊施設の検討、開発を進めている。

【利便性：区域までの交通、域内交通】

観光客の主な交通手段は自家用車となっており、2017 年の中部縦貫自動車道・永平寺大野道路の開通によって、関西・中京エリアからのアクセスが飛躍的に向上した。2024 年には北陸新幹線金沢 - 敦賀間の延伸を控えており、関東・甲信越方面から訪れる観光客の増加も期待される。地域鉄道として、第 3 セクターの「えちぜん鉄道」が県都の福井市と勝山市間を結んでおり、北陸新幹線からの二次交通手段として有力視されている。福井市からの他の二次交通手段としては、福井市からのレンタカーになるが、現状として十分に確保できている状況ではない。県としても福井駅から恐竜博物館までの直通バスを繁忙期において提供しており、勝山市を目指す交通手段は拡充している。

市内の交通手段においては、えちぜん鉄道勝山駅と福井県立恐竜博物館を結ぶ直通シャトルバス「恐竜博物館直通便」が 2017 年 4 月より運行しており、恐竜博物館への直通アクセスが向上してきていることに加え、コミュニティバスの運行で勝山市内各地へのアクセスも可能としているが、恐竜博物館以外への交通手段がバスの本数不足、高齢化によるタクシーの夜間配送減少等課題が多数存在している。

【外国人観光客への対応】

国内観光客が増加し続けている勝山市において、外国人観光客の誘客については徐々にだが、機運が高まってきている。グローバルキャンペーン等の事業にて勝山市を含む周辺地域のインバウンド向けのコンテンツ開発や情報発信を行った。また、チラシやツアー資料の英文化も行っている。将来的に北陸新幹線が延伸する流れの中で、金沢に滞在する観光客に向けてさらなるワンステップとして情報を提供していきたいと考えている。

観光庁の事業等の採択を受け、インバウンド向けのコンテンツを増やし、受け入れ体制の強化を目指している。インバウンド誘客における情報発信を強化するべく、2021 年より「MATCHA」を導入し、地域観光情報の発信を強化している。

3 . 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
観光入込客数	経済活性化状況の把握のため	市役所が収集したデータを分析
延べ宿泊者数	経済活性化状況の把握のため	市役所が収集したデータを分析
旅行消費額	経済活性化状況の把握のため	市役所が収集したデータを分析
来訪者満足度	満足度と不満な点をヒアリングするため	自社で行っているヒアリングアンケートにより集計、分析
顧客属性（居住地、性別、人数等）	正しい顧客属性を把握し、適切にマーケティングを行うため	自社で行っているヒアリングアンケートにより集計、分析
観光 WEB サイトや SNS のアクセス状況及びインサイト	満足度や PR 事業を行う際のベンチマークとしての指標を把握するため	自社の運営する各種 Web サイトのアクセス数を取得
観光案内所での問い合わせ内容	観光客ニーズの把握のため	観光案内所での相談受付
道の駅での入込客数と購買人数	道の駅での購買率を調査し、収益性を改善するため	POS レジにて把握
恐竜博物館前のショップでの購買人数	収益性を改善するため	POS レジにて把握

4 . 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

勝山市では人口減少が進んでおり、22,000 人台まで減少し、高齢化も進んでいる。基幹産業であった繊維産業においても事業所が減少傾向にあり、農林水産業においては高齢化率が顕著に進んでいる。こうした地域の課題に対して今まで取り組んでいなかった観光産業における市内事業者の収益化を目指していく。地域資源を活かした観光商品開発やお土産開発、既存の施設を連携しながら、誘客に取り組むという観光産業を推進することによって、新たな雇用の創出や担い手不足の解消等につなげていく。

また、周辺市町と連携を行い、行政の枠だけでは限界がある観光客を面で捉えていくことを目標としている。

(2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<p>強み (Strengths)</p> <p>「自地域で積極的に活用できる強みは何か？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 恐竜化石発掘量日本一まち ・ 世界三大恐竜博物館にも選ばれており、恐竜好きの中でもメッカとなっている福井県恐竜博物館 ・ ウィンターシーズンだけでなく、グリーンシーズンも楽しむことができる西日本最大級のスキー場スキージャム勝山 ・ 山岳信仰の神秘性あふれ、1300 年の歴史を誇る白山信仰の中心地として栄えた白山平泉寺 ・ 日本で一番大きい大仏 越前大仏 	<p>弱み (Weaknesses)</p> <p>「自地域で改善を必要とする弱みは何か？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの観光客が訪れるが、夏季の飲食施設や宿泊施設の収容力が不足している。 ・ 地元特産品が非常に少なく、さらに市内で作る加工品も非常に少なく、不足している。 ・ 提供する食のバラエティが少ない。 ・ 観光地を結ぶ市内周遊のインフラが非常に弱く、恐竜博物館からの市内周遊が非常に難しい。 ・ アクティビティ系の事業者の少なさ ・ 行政の観光に対しての取り組みの少なさ ・ 観光の専門人材の不足

外部環境	<p>機会 (Opportunity) 「自地域にとって追い風となる要素は何か？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北陸新幹線の福井開通 ・ 金沢からの日帰り需要 ・ アウトドア需要の拡大 ・ 中部縦貫自動車道延伸 ・ 周辺地との連携可能性 ・ 映画等による恐竜需要の定期的な喚起 	<p>脅威 (Threat) 「自地域にとって逆風となる要素は何か？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光に携わる担い手の不足 ・ 渋滞などの観光公害の発生 ・ 若者のスノースポーツ離れ ・ 豪雪のマイナスイメージ ・ 災害 (豪雨)
------	--	---

上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入 (様式自由)

(3) ターゲット

<p>第1ターゲット層 中京・関西・関東の大都市に居住する20～40代の子供がいるファミリー</p>
<p>選定の理由 市内の集客力がある観光施設の主要観光客層であり、アンケート結果からも見ることができる。北陸新幹線の延伸や恐竜博物館の増設等により関東圏からの同属性の誘客が見込むことができ、今後も増加することを予想しているため。</p> <p>取組方針 上記ターゲットの根本的なニーズは「子どもの喜ぶ顔を見たい。子どもとの楽しい思い出を作りたい」ということであり、恐竜博物館に多くの観光客が来ている理由も子どもを喜ばせたいという親心によるものである。地域資源を活用し、家族で一緒に楽しむことができるアクティビティを提供することや、ターゲットにあった商品構成を考え提供することが、滞在時間の長期化や観光消費額の増加を図ることができると考えている。</p>
<p>ターゲット層 永平寺など歴史に興味がある個人旅行で訪れるアクティブシニア層</p>
<p>選定の理由 アンケート結果からもシニア層が第1ターゲットの次に来訪が多いが、取り込みが十分ではなく、恐竜博物館以外の白山神社平泉寺等の施設との親和性が非常に高いため。</p> <p>取組方針 永平寺などと親和性が高い、白山平泉寺などで「食」「ガイド」などの付加価値を提供できるものを増加していく。</p>
<p>ターゲット層 日本に何度も訪れている金沢を訪れている外国人</p>
<p>選定の理由 勝山市を訪れている外国人観光客としては香港・台湾出身者が多く、福井県観光連盟等のターゲットにもなっており、他地域との連携が取りやすいため。</p> <p>取組方針 インバウンドの誘客においては、他地域、市町村や県と連携して取り組む必要があることと認識しており、連携を密にして旅行会社への共同PR等を行っている。 また、コンテンツ開発については随時コンテンツを見つけながら、開発していく。</p>

(4) 観光地域づくりのコンセプト

コンセプト	山と川、大地の恵みに出会う
コンセプトの考え方	<p>勝山市は名前に「山」がつく通り、山間の自然が地域資源の根底を成している。有史以前は恐竜が闊歩する一大地であり、有史以降では白山信仰の本拠地として名を馳せた宗教都市である。近年ではスキーリゾート地、鮎釣りの聖地、登山スポットとしての需要に沸くなど、古今問わず山間の恩恵を受けてきた地である。</p> <p>現在、勝山市は日本最大の化石産出地として脚光を浴び、福井県立恐竜博物館は県内随一の入込客を誇るが、恐竜だけに留まらず白山、九頭竜川に育まれた自然と歴史文化を一体的に提供することで、観光周遊の促進と観光消費額の増加を図っていく。</p> <p>地域 DMO として、まちのコンテンツの強さを引き出し、市内企業が観光産業に参入できる土壌を造成し、伴走型支援で情報やノウハウを提供していく。</p>

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 頻度が分かるよう記入すること。	<p>取締役会、株主総会、各種事業での連絡調整会議。</p> <p>取締役会は商工会議所を中心として、金融機関の代表者等で構成されており、3ヶ月に1回程度設け、1年に1回の株主総会にて方向性や情報の共有を行っている。</p> <p>地域の観光施設等の事業者とは1~2ヶ月に1回程度、現地を訪問し、事業者との意見交換を行っている。意見交換の内容はイベント事業の共有や開催についてのヒアリング、SNS 周りの協力、団体営業等の商談会の情報共有など、それぞれの観光事業者に沿った内容で行っている。</p> <p>観光プロモーション等各事業でも連携を行っており、観光事業者側の事業実施や情報発信、インターネット等メディアの一部管理等も当社が中心となって実行している。</p>
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	<p>当社が中心となり、市内事業者を巻き込みながら、観光客に提供するサービスを提供している。維持・向上・評価においては来訪する観光客にヒアリングアンケートを実施し、改善点があった場合、当該担当部署（施設管理においては市役所等）に情報提供している。</p>

<p>観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション</p>	<p>ウェブメディアとして観光サイトの運営や SNS の運営をしており、観光施設・飲食施設・宿泊施設等を網羅的に紹介している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイト（勝山観光ナビ） ・SNS（観光情報公式、恐竜ショップ、道の駅恐竜渓谷かつやま） <p>観光の情報発信においては勝山市と協議の上、一元的に DMO が行っている。</p> <p>また、各観光施設の SNS 運営や各観光施設の Google My Business 等も一部弊社で行なっており、情報の齟齬がないように発信・管理を行っている。</p> <p>来訪後の情報案内としては、恐竜博物館を擁する長尾山総合公園内において、インフォメーションセンターを運営し、市内観光地等の案内を実施している。</p>
--	---

各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6 . K P I (実績・目標)

戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

(1) 必須KPI

指標項目		2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度
旅行消費額 (百万円)	目標	5,348 (-)	5,561 (-)	5,672 (-)	5,156 ()	6,000 ()	6,200 ()
	実績	4,123 (-)	4,445 (-)	6,799 (-)			
延べ宿泊者数 (千人)	目標	86,947 (-)	88,425 (-)	80,386 (-)	84,405 ()	88,425 ()	92,846 ()
	実績	57,330 (-)	64,237 (-)	94,771 (-)			
来訪者満足度 (%)	目標	65 (-)	70 (-)	75 (-)	75 ()	78 ()	80 ()
	実績	81.4 (-)	81.7 (-)	81.0 (-)			
リピーター率 (%)	目標	33 (-)	35 (-)	36 (-)	36 ()	35 ()	35 ()
	実績	27.0 (-)	27.7 (-)	28.2 (-)			

括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

旅行消費額、延べ宿泊者数は、勝山市役所で計測をしてきているが、今後は当社と連携して市内の宿泊施設・観光施設を含めてデータ収集・分析を行う方向で協議を行っている。

来訪者満足度・リピーター率は当社が実施しているアンケートの結果をもとに分析をしている。

新型コロナウイルスの影響もあるが、2022年12月以降4ヶ月程度恐竜博物館が一時休館するため、現状通りもしくは微増、収容人数2023年以降ホテル建設等で宿泊数が大幅に増加すると予測している。それに伴い、リピーター率は減少すると考えている。

【設定にあたっての考え方】

旅行消費額

福井県観光客入込数から一人当たりの平均観光消費額(県内消費)をもとに積算している。

延べ宿泊者数

勝山市のデータによって算出している。

来訪者満足度

当社が実施しているアンケートデータから算出している。

県民以外のデータを抽出し、点数の平均値を出している。

リピーター率

当社が実施しているアンケートデータから算出している。

(2) その他の目標

指標項目		2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度
Webサイトの アクセス状況	目標	30,000 ()	40,000 ()	50,000 ()	65,000 ()	70,000 ()	75,000 ()
	実績	42,331 (908)	61,471 (1,811)	119,626 (2,957)			
メディア掲載 回数(回)	目標	5 ()	20 ()	30 ()	30 ()	35 ()	40 ()
	実績	7 ()	10 ()	17 ()			
インフォメー ションセンタ ー観光案内数 (件)	目標	7,800 ()	7,900 ()	8,000 ()	8,000 ()	8,000 ()	8,000 ()
	実績	4,313 ()	3,520 ()	6,210 ()			
		()	()	()			

括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値
各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

来訪前の情報発信指標として「観光ホームページPV数」を、来訪後の情報発信指標として、「インフォメーションセンター観光案内数」を設定する。
また新たにメディア掲載回数をカウントしていく。

【設定にあたっての考え方】

観光ホームページPV数

当社が運営する「福井観光ナビ勝山」のPV数のうち、ランディングページ(画面トップ)を集計対象とする。

メディア掲載回数

自社の取り組み及び、携わっている市内観光施設のメディア掲載数を対象としている。

インフォメーションセンター観光案内数

2018年4月にジオターミナルがオープンし、勝山市からインフォメーションセンター運營業務を受託。恐竜博物館からの周遊促進を目的として観光案内を実施しており、恐竜博物館の位置する長尾山総合公園内に関する案内も含めて集計対象としている。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

少なくとも今後3年間について、計画年度毎に(1)収入、(2)支出を記入すること。
現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

(1) 収入

年 (年度)	総収入 (円)	内訳 (具体的に記入すること)
2020 (R 2) 年度	367,142,000 (円)	【収益事業】 210,052,000 円 【公物管理受託】 インフォメーションセンター運営 : 12,753,368 円 道の駅指定管理 : 15,026,990 円 【補助委託事業】 129,309,642 円
2021 (R 3) 年度	246,415,069 (円)	【収益事業】 195,976,683 円 【公物管理受託】 インフォメーションセンター運営 : 10,583,093 円 道の駅指定管理 : 15,982,937 円 【補助委託事業】 【その他】 18,802,167 円 5,070,189 円
2022 (R 4) 年度	378,961,770 (円)	【収益事業】 340,478,941 円 【公物管理受託】 インフォメーションセンター運営 : 10,798,182 円 道の駅指定管理 : 15,563,638 円 【補助委託事業】 12,121,009 円
2023 (R 5) 年度	515,788,188 (円)	【収益事業】 475,366,368 円 【公物管理受託】 道の駅指定管理 : 13,363,638 円 【補助委託事業】 25,958,182 円
2024 (R 6) 年度	555,293,000 (円)	【収益事業】 523,729,000 円 【公物管理受託】 道の駅指定管理 : 13,364,000 円 【補助委託事業】 【その他】 15,000,000 円 3,200,000 円

2025 (R 7) 年度	555,293,000 (円)	【収益事業】 523,729,000 円 【公物管理受託】 道の駅指定管理：13,364,000 円 【補助委託事業】 【その他】 15,000,000 円 3,200,000 円
--------------------	-------------------	--

(2) 支出

年 (年度)	総支出	内訳 (具体的に記入すること)
2020 (R 2) 年度	347,502,000 (円)	【売上原価】 236,928,000 円 【人件費】 57,834,000 円 【物件関係費】 28,033,000 円 【運営関係費】 24,707,000 円
2021 (R 3) 年度	244,047,144 (円)	【売上原価】 131,875,303 円 【人件費】 60,605,731 円 【物件関係費】 29,614,372 円 【運営関係費】 20,965,275 円 【支払い利息】 986,463 円
2022 (R 4) 年度	357,832,166 (円)	【売上原価】 217,952,792 円 【人件費】 68,910,232 円 【物件関係費】 40,453,826 円 【運営関係費】 29,638,640 円 【支払い利息】 876,676 円
2023 (R 5) 年度	583,512,000 (円)	【売上原価】 316,400,000 円 【人件費】 79,940,000 円 【物件関係費】 48,945,000 円 【運営関係費】 44,202,000 円 【支払い利息】 877,000 円

2024 (R 6) 年度	525,490,000 (円)	【売上原価】 347,950,000 円 【人件費】 83,540,000 円 【物件関係費】 53,000,000 円 【運営関係費】 40,000,000 円 【支払い利息】 1,000,000 円
2025 (R 7) 年度	525,490,000 (円)	【売上原価】 347,950,000 円 【人件費】 83,540,000 円 【物件関係費】 53,000,000 円 【運営関係費】 40,000,000 円 【支払い利息】 1,000,000 円

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

2018年のジオターミナルの運営開始により、自律的・継続的な活動に向けた運営資金の確保に目途が立ったことに加え、2020年に指定管理者となった道の駅恐竜渓谷かつやまがオープンし、自主財源で運営資金を確保できている。

収益事業の内容は以下の通り

【収益事業】

・ジオターミナル

2018年より福井県立恐竜博物館前のジオターミナルを市役所と共同で建設し、2023年4月より市役所管理部分の譲渡を受け、全て自社物件となった。施設内にてショップ及びレストランを自主運営している。売上及び客単価も向上しており、現在はオリジナル商品開発を行い、原価率の管理や収益性の向上を目指している。ショップは日本最大級の恐竜のお店としてブランドプロモーションを図り、現在も行っている県外での催事出店等をブランド価値向上とともに拡大していきたいと考えている。

・道の駅恐竜渓谷かつやま

2020年より指定管理者となり運営をしている。現在はショップではPDCAを回しながら、商品構成や販売方法の改善を重ねている。現在、地元の商材を使用した商品開発を行っており、地元商材を使用した商品開発をおこなっている。

また、農業生産者や水産事業者の高齢化の課題等もあり、将来的には1次産業も当社を絡めてできないか検討をしている。また、道の駅隣接地においても弊社で青果市場の移設や加工所やレストランを建設する計画を市役所と協議しながら、検討している。

・古民家一棟貸し宿

白山平泉寺周辺の空き家を利用した一棟貸しの宿を検討、計画している。

8 . 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

勝山市観光まちづくり(株)は、市民や団体、1~3次産業者など多種多様な主体の参画による観光地域づくりを推進し、地域産業・経済の活性化による当市の持続的な発展を牽引する目的として、勝山市や勝山商工会議所、そして市内金融機関など関係者が出資して設立された法人である。

実施事業についても、定例的な協議や情報交換などを行い、勝山市と連携を図りながら行っている。当市としても勝山市観光まちづくり(株)とともに日本版DMOとしての取組を強く推進し、市内の観光の産業化を図って参りたい。

9 . マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携DMOや地域DMOとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

地域連携DMOである福井県観光連盟と定期的に意見交換や事業協力を行なっている。

【区域が重複する背景】

地域連携DMOとして県内全域を対象としているため。

【重複区域における、それぞれのDMOの役割分担について】

地域事業者やDMOに向けての補助や観光連盟が行う事業の協力。地域事業者と事業の実施等は地域DMOで行なっている。

【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

地域連携DMOは後方支援を主としているため、効率的な活動の遂行が期待できる。

10 . 記入担当者連絡先

担当者氏名	今井 三偉
担当部署名（役職）	取締役 マネージャー
郵便番号	〒911-0804
所在地	福井県勝山市元町1丁目18-19
電話番号（直通）	0779-87-1245
FAX番号	0779-87-3110
E-mail	imai@katsuyama-navi.jp

11 . 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	福井県勝山市
担当者氏名	中村 博紀
担当部署名（役職）	商工文化課（課長補佐）
郵便番号	〒911-8501
所在地	福井県勝山市元町一丁目1番1号
電話番号（直通）	0779-88-8117
F A X 番号	0779-88-1119
E - m a i l	h-nakamura@city.katsuyama.lg.jp

記入日: 令和5年 7月 7日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

福井県勝山市

【設立時期】 平成28年6月17日

【設立経緯】

その他

【代表者】 宮塚 和彦

【マーケティング責任者(CMO)】 今井 三偉

【財務責任者(CFO)】 伊藤 寿康

【職員数】 24人(常勤18人(正職員18人・出向等0人)、非常勤6人)

【主な収入】

収益事業340百万円、公物管理受託26百万円、委託事業12百万円(R4年度決算)

【総支出】

売上原価217百万円、人件費68百万円、物件関係費40百万円、運営関係費29百万円、支払い利息876千円(R4年度決算)

【連携する主な事業者】

勝山市、勝山商工会議所、(合)ジオスタジオ、大福交通(有)、えちぜん鉄道(株)、東急リゾート&ステイ(株)、地元金融機関や市内観光・商工事業者、隣接市町観光協会等

KPI(実績・目標)

()内は外国人に関するもの。

項目		2020 (R2)年	2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年
旅行消費額 (百万円)	目標	5,348 (-)	5,561 (-)	5,672 (-)	5,156 ()	6,000 ()	6,200 ()
	実績	4,123 (-)	4,445 (-)	6,799 (-)			
延べ宿泊者数 (千人)	目標	86,947 (-)	88,425 (-)	80,386 (-)	84,405 ()	88,425 ()	92,846 ()
	実績	57,330 (-)	64,237 (-)	94,771 (-)			
来訪者満足度 (%)	目標	65 (-)	70 (-)	75 (-)	75 ()	78 ()	80 ()
	実績	81.4 (-)	81.7 (-)	81.0 (-)			
リピーター率 (%)	目標	33 (-)	35 (-)	36 (-)	36 ()	35 ()	35 ()
	実績	27.0 (-)	27.7 (-)	28.2 (-)			

戦略

【主なターゲット】

第1ターゲット: 20~40代の子供がいるファミリー

第2ターゲット: 永平寺など歴史に興味がある個人旅行で訪れるシニア層

将来的なターゲット: 金沢に訪れる外国人

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

恐竜博物館という非常に強いコンテンツを軸に誘客を実施。また、恐竜以外のコンテンツを宿泊および交通事業者と連携して、着地型商品として提供、滞在時間の延長を目指している。インバウンドについては、滞在型ツアーを検討、開発し、地域住民と接点が増える事業を開発。

【観光地域づくりのコンセプト】

山と川、大地の恵みに出会う

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】

- ・インバウンド向けコンテンツ造成・販売。
- ・国内向けツアーの開発、実施。
- ・観光再始動事業による事業実施予定
- ・市内事業者と連携し、商品開発

【受入環境整備】

- ・ガイド講習を実施
- ・Googleマイビジネス支援・運営
- ・Trip Advisor開設支援
- ・パンフレット制作

【情報発信・プロモーション】

- ・HP運営
- ・SNS情報発信
- ・インバウンド向け情報発信(HP開設)
- ・インフルエンサー招聘
- ・観光施設 広報運営支援

【その他】

- ・日本最大級の恐竜ショップ運営
 - ・道の駅 指定管理受託
 - ・青果市場運営支援
 - ・イベント実施
- 等

